

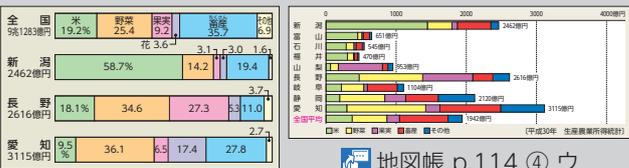
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.230-231 雪を生かした北陸の産業
2. 目標 (1) 北陸では、雪どけ水を稲作や水力発電などに活用することで産業を発展させてきたことを理解できる。
(2) 地場産業が発展した理由を、自然環境の特色や技術の発展などと関連付けて説明できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・北陸の農業と地場産業の特色を、自然環境との関わりに着目して理解している。
思考・判断・表現	・北陸で地場産業が発達した理由を、地域の歴史的な背景や冬期間の副業と内職の技術、水力発電の電力などに着目して説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導 入	<p>1. 「収穫前の水田と小千谷縮の雪さらし」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 雪国の人々は、雪をどのように利用しているのかを予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>秋(9月) 冬(2月)</p> <p>p.230 1</p> <p>2枚は同じ場所の秋と冬の様子ですが、冬の写真は、何をしているところだろうか。</p> <p>北陸の人々は、雪をどのように活用しているのだろうか。</p>	<p>○ 写真の作業がどのようなものか着目させながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 雪国の人々は、雪をどのように活用しているのか予想させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>
<p>学習課題：雪が多い北陸では、どのような産業が発達してきたのだろうか。</p>			
展 開	<p>3. 北陸の稲作について理解する。</p> <p>(1) 北陸の農業</p> <p>(2) 越後平野の稲作</p>	 <p>全国 9兆128億円 米 19.2% 野菜 25.4 果実 9.2 畜産 35.7 漁業 6.9 雑穀 3.6</p> <p>新潟 2462億円 58.7% 14.2 19.4 3.7</p> <p>長野 2616億円 18.1% 34.6 27.3 11.0 2.7</p> <p>愛知 3115億円 9.5% 36.1 6.5 17.4 27.8</p> <p>地図帳 p.114 ④ ウ</p> <p>p.231 3</p> <p>北陸の農業の特色を挙げてみよう。</p> <p>北陸では、なぜ、農業産出額に占める米の割合が高いのだろうか。</p>  <p>地図帳 p.116 ⑤</p> <p>越後平野では、稲作を盛んにするために、どのような工夫をしてきたのだろうか。</p>	<p>○ 北陸の農業の特色を調べさせる。</p> <p>◆ 水田が分布している地域を地図帳で確認させ、北陸は農業産出額に占める米の割合が高いことに気付かせる。</p> <p>◆ 北陸は、豊富な雪どけ水を稲作に利用できることや、河川の下流には比較的大きな平野があることに気付かせる。</p> <p>◆ 越後平野では、耕地整理や干拓などの農地整備や銘柄米の開発によって、全国有数の稲作地帯になったことを理解させる。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展 開</p>	<p>(3) 米を加工する産業の発展</p> <p>4. 地場産業が冬場の副業として発達した経緯について理解する。</p> <p>(1) 副業から生まれた「伝統的工芸品」</p> <p>(2) 副業の技術を土台とした地場産業</p>	 <p>p.230 2</p>  <p>地図帳 p.116 ⑥</p> <p>米を加工する産業には、どのようなものがあるのだろうか。</p>  <p>p.221 6</p>  <p>p.231 5</p> <p>北陸では、なぜ、伝統的工芸品の生産が盛んなのだろうか。</p>  <p>p.231 4</p>  <p>p.221 4</p>  <p>p.231 7</p> <p>何を製造しているのだろうか。</p> <p>それぞれ、どのような技術が生かされているのだろうか。</p>	<p>○ 地図帳の酒造や米菓の絵記号などから、米を加工する産業を調べさせる。</p> <p>◆ 新潟県は、日本酒や米菓、餅などの食品工業が盛んなことに気付かせる。</p> <p>○ 北陸で伝統的工芸品の生産が盛んな理由を考えさせる。</p> <p>◆ 北陸では、雪に覆われる期間が長いため、冬に屋内で作業ができる織物や漆器、金物などの工芸品作りが副業で行われてきたことに気付かせる。</p> <p>○ 北陸の地場産業の特色をとらえさせる。</p> <p>◆ 燕市の洋食器や鯖江市の眼鏡フレーム、射水市のアルミサッシなどが知られていることを理解させる。</p> <p>○ 地図帳で、燕市や鯖江市、射水市の位置を確認させる。</p> <p>◆ 洋食器や眼鏡フレームは、冬期間の副業でつちかわれた金属加工などの技術が土台となっているほか、アルミサッシは伝統的な銅器の製造技術と豊富な水力発電の電力が結び付いて発達したことを理解させる。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整 理</p>	<p>5. 本時のまとめをする。</p> <p>6. 学習課題への振り返りの活動を行う。</p>	<p>北陸で地場産業が発達した理由について、説明しよう。</p> <p>「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">節 の 振 り 返 り</p>	<p>7. 「節の問い」への振り返り活動を行う。</p>	<p>中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。</p> <p>この節で学んだことから、次の節の学習に生かせることを考えてみよう。</p>	<p>○ 「節の振り返り」へ記入させ、次節の学習へつながりを持たせる。</p>